



第40号

発行
横浜商科大学
同窓会
Tel 045-583-9031
<http://www.shodai-ob.com/index.html>
印刷
(株)サン・プリンティング
Tel 03-3750-6633

ごあいさつ

同窓会会長 大嶋 裕

横浜商科大学同窓会々員の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。又、日頃より同窓会に、ご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。東日本大震災と原発事故という、かつて経験したことのない災害から1年2ヶ月が過ぎ、日本は今、未曾有の困難に直面しています。

本会も震災後、母校、育友会と連携を図り「東日本大震災義援金」の募金活動を行ないました。

皆さまのご協力のおかげをもちまして、65名の同窓生及び在校生に、お見舞金として直接、お贈りさせて頂くことが出来ました。その後、お礼状、感謝のお手紙をいただき、19000余名の同窓の輪が、こんなに力強く感じられたことはありません。そして同窓の輪という絆に改めて思い知らされました。

この素晴らしい輪と絆をもっと広げるよう、更に活動を充実させていきたいと考えております。

さて、同窓会の目的の一つに、母校、横浜商科大学の発展に寄与することがあります。

昨今、大学を取り巻く環境は、想像以上に厳しいものがあるようです。(第三者評価認定など) その一つひとつを乗り越える為に、大学もさまざまな取り組みをし、さらなる発展の為に大きな改革がされようとしています。

私達会員一人ひとりの活動が大学の評価にも繋がっていくことを自覚し、母校がこれからは発展しつづけるためにも、卒業生一人ひとりの活躍を祈念申し上げます。

今後とも本会に、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

第36回 横浜商科大学同窓会 総会 懇親会



平成23年11月26日
新横浜国際ホテル

第36回 横浜商科大学同窓会総会

(平成23年11月26日(土) 於：新横浜国際ホテル)

収支計算書

自 平成22年10月1日
至 平成23年9月30日

収入の部 単位：円

科 目	決算額
I 会費収入	13,820,000
II 事業収入	510,000
III 資産運用収入	215,187
IV 雑収入	49,644
V 積立金(剰余金)取崩収入	0
当期収入合計(A)	14,594,831
前期繰越収支差額	79,007,449
収入合計(B)	93,602,280

支出の部 単位：円

科 目	決算額
I 事業費	5,818,062
II 準会員支援金	4,043,041
III 組織強化費	5,300,974
IV 管理費	4,619,664
当期支出合計(C)	19,781,741
当期収支差額(A)-(C)	-5,186,910
次期繰越収支差額(B)-(C)	73,820,539

平成23年度収支予算書

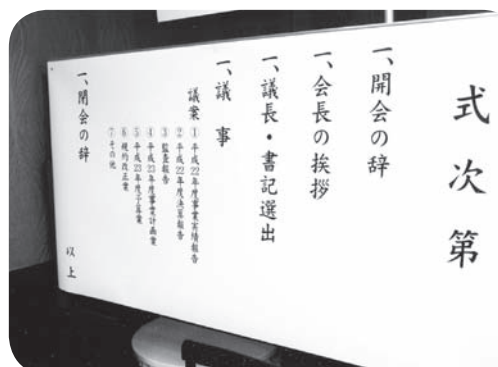
自 平成23年10月1日
至 平成24年9月30日

収入の部 単位：円

科 目	予算額
I 会費収入	14,000,000
II 事業収入	500,000
III 資産運用収入	210,000
IV 雑収入	0
V 積立金(剰余金)取崩収入	0
当期収入合計(A)	14,710,000
前期繰越収支差額	74,678,410
収入合計(B)	89,388,410

支出の部 単位：円

科 目	予算額
I 事業費	5,200,000
II 準会員支援金	5,130,000
III 組織強化費	4,600,000
IV 管理費	4,900,000
当期支出合計(C)	19,830,000
当期収支差額(A)-(C)	-5,120,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	69,558,410



正味財産増減計算書

自 平成22年10月1日
至 平成23年9月30日

単位：円

科 目	金 額
I 増加の部	
1. 50周年記念事業積立金	500,000
増加額合計	500,000
II 減少の部	
1. 当期収支差額	5,186,910
減少額合計	5,186,910
当期正味財産増減	-4,686,910
前期繰越正味財産	88,507,449
期末正味財産合計	83,820,539

(平成23年9月30日現在累計額)

(単位：円)

注：1. 50周年事業積立金 7,500,000
2. 名簿発行準備金 1,000,000
3. 公報発行積立金 1,500,000
10,000,000

貸借対照表

平成23年9月30日 現在

単位：円

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 現 金	210,392	1. 未 払 金	857,871
2. 普通預金	10,475,998	1. 正味財産	83,820,539
3. 定期預金	73,992,020		
合 計	84,678,410	合 計	84,678,410

平成22年度 事業報告

(自：平成22年10月1日 至：平成23年9月30日)

【事業実績】

平成22年10月1日 同窓会会報第37号発行
 10月16日 大学との定期懇談会開催
 10月30日 大学祭（飯山祭）へ支援
 11月27日 平成21年度定期総会（第35回）開催
 平成23年3月1日 クレー射撃ワールドカップ チリ大会出場支援
 3月26日 平成22年度学位授与式・記念品贈呈・卒業記念パーティー支援(中止)
 4月2日 平成23年度入学記念品贈呈
 4月7日 同窓会奨学金贈呈（3名）
 4月25日 同窓会会報第38号発行
 5月14日 大学との定期懇談会開催
 5月28日 留学生懇親会支援
 6月7日 全日本大学野球選手権記念大会出場支援
 9月10日 同窓会会報第39号発行
 9月24日 平成23年度秋季卒業式・記念品贈呈

【支部総会】

平成22年9月25日 宮城支部総会開催
 10月14日 不動産支部総会開催
 10月16日 福島支部総会開催
 10月31日 長野支部総会開催
 11月13日 マーケティング研究会支部設立総会開催
 12月4日 関西支部総会開催
 12月18日 韓国支部設立総会開催
 平成23年2月13日 剣道支部総会開催
 5月13日 教員支部総会開催
 5月14日 飯山会支部総会開催
 6月12日 静岡支部総会開催
 6月25日 ハンドボール支部総会開催
 7月2日 群馬支部総会開催
 7月30日 四国支部総会開催
 9月10日 広島支部総会開催
 9月10日 経営情報システム研究支部総会開催
 9月11日 新潟支部総会開催
 9月15日 不動産支部総会開催

【役員会】

平成22年10月23日 第91回役員会開催
 平成23年1月29日 第92回役員会開催
 2月26日 第93回役員会開催
 4月23日 第94回役員会開催
 5月28日 第95回役員会開催
 6月25日 第96回役員会開催
 7月30日 第97回役員会開催
 9月17日 第98回役員会開催

平成23年度 事業計画

(自：平成23年10月1日 至：平成24年9月30日)

1. 定期総会の開催
2. 機関紙の発行（年2回）
3. 支部設立の推進（特に都道府県単位支部）
4. 本部・支部及び各支部間の連絡強化

支部及び支部長一覧

都道府県支部

広島支部	支部長 風呂 実雄（第10期）
関西支部	和田 彰（第2期）
福島支部	片野 博（第5期）
静岡支部	山崎 成（第4期）
新潟支部	吉井 直樹（第18期）
群馬支部	鈴木 清照（第8期）
宮城支部	小松 智（第8期）
四国支部	宇都宮吉彦（第11期）
長野支部	春日 健三（第3期）
韓国支部	Cha Byoung Huen（第20期）

運動・研究会関連支部

剣道支部	柴崎 雅治（第19期）
ハンドボール支部	滝上 徹（第5期）
経営実践支部	佐藤 哲郎（第28期）
経営情報システム研究支部	滝口 猛（第10期）
飯山会支部	榎田 悠一（第1期）
マーケティング研究会支部	小林 正明（第1期）

職域支部

観光産業支部	杉原 一光（第2期）
教員支部	和内 広行（第18期）
会計人会支部	高崎 洋一（第28期）
不動産支部	金沢 亨（第14期）

5. 名簿管理の充実
6. 収支改善の検討
7. 本部総会、各支部総会の会員出席率の向上



第6回支部長会議 平成23年11月26日(土) PM1:30より

第36回 横浜商科大学同窓会 総会 懇親



祝 開学45周年

つるみキャンパスに集う仲間たち

横浜商科大学 祝 開学45周年記念・ホームカミングデー



203名参加



大抽選会で豪華景品をゲット!!



開 式
挨拶 理事長 松本英二
挨拶 学 長 柴田悟一
45年の歩み
来賓挨拶 育友会会長 木暮克敏
校歌斉唱
閉 式

開学45周年式典

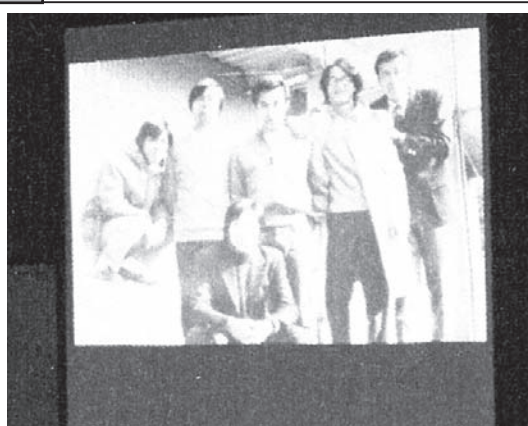
第2回
ホームカミングデー
11/5(土)

飯山祭
講演会
宇宙への挑戦 JAXA講演
式典
開学から45周年を迎え、更なる発展を祈念し式典を開催
懇親会

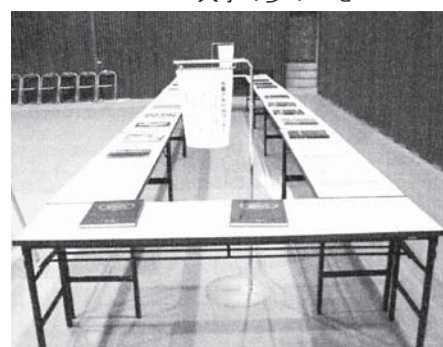


懇 親 会

開式の辞 同窓会会長 大嶋 裕
挨拶 商学部長 伊藤 穰
乾杯
歓談
余興 育友会会長 木暮克敏
大抽選会 実行委員長 小林雅人
閉式の辞



“大学の歩み”を



大学生活と近況について

横浜商科大学での4年間

は、思い返してみると本当にあつという間だったと思います。新潟から神奈川での一人暮らしということで、不安と暮らしということで、不安と期待でいっぱいの中始まった大学生活は本当に楽しかったという思いでいっぱいです。

大学では、プロフェッショナルコースの講義が特に印象に残っています。教授の方たちとの距離が近く、聞きたいことをなんでも聞くことができる環境は、他の大学の友人から話を聞いても珍しいものだということ、とても良い経験ができたと思っています。また、ゼミでもアットホームな環境で、友人と楽しくもしっかりと研究を進めることができます、集団行動の中での連絡・情報交換の重要性、協調性を学ぶことができました。

プライベートでは、一人暮らしということで、炊事・洗濯・金銭管理等の身の回りの

ことを全て自分で行なわなければなりません。これにより今までの生活では分らなかった苦労を知り、人間的な部分で成長できたのではないかと思っています。そして家族への感謝の気持ちを強く感じ、これからは私が家族の助けになっていくという決意が生まれました。

そして現在、私は地元新潟の運送会社に入社し、経理の仕事をしています。経理という仕事はサッカード例えるのと、ゴールキーパーのようなもので、会社の1カ月または1年の作業の業績を正確にまとめ報告しなくてはなりません。また、取り扱う金額が今までの生活では目にしたこともない額の数字で、非常にプレッシャーを感じています。毎日覚えることがたくさんあり、生活リズムも大幅に変わったことで正直、精神的に辛いと思うこともあります。しかしそこは、大学生活で培ってきたことを生かせるよう、日々努力して乗り切りたいこうという思いです。また、今後は交流関係も広がっ

ていくことにより、様々な人と出会うのが楽しみでもあります。

「安んじて事を託さるゝ人となれ」の精神のもと、横浜商科大学の卒業生として恥ずかしくない責任感のある社会人になっていきたいと思っています。

[illegible]

部活動から学んだこと

商学科 中澤 勇貴

私が横浜商科大学に入りたいと思ったキツカケは憧れていた先輩がいたということと家から近いという単純な考えで入学しました。部活動ではすぐにレギュラーになつてこのチームで活躍するぞと意気込んでいましたが現実はその甘くありませんでした。自分の実力不足と怪我や色々な遊びの誘惑に負けてしまい中々レギュラーになることができませんでした。4年生でキャプテンに選ばれ練習以外の様々な仕事加わり部員をまとめることの難しさを改めて学びそのことが今の私の基礎になつていると思います。一

言でまとめるといっても、そう簡単ではなく、まずは自分が行動して見せるということが大切だと思いました。言葉より行動に移すことにより自然と皆がついてきてくれました。目標にしていた全日本には出場できませんでしたが、監督、助監督、コーチ、先輩方には正しいご指導をしていただきとても感謝しております。商科大剣道部ですごした4年間は社会に出た今、多く生かされています。例えば武道場の管理や助監督への毎日の連絡など正しく教えていただいたので、今の会社ではとても生かされています。割と単純に考えて入った大学でしたが今の私の基礎をつくり将来に導いてくださったことに感謝しています。



平成23年度 横浜商科大学卒業記念パーティー



学部長就任にあたって

伊藤 穰



先日ある店で顧客カードの職業欄に横浜商科大学と記入すると、30代後半と思しき店員さんが目を輝かせながら、「横浜商科大学の先生ですか？」と尋ねてきました。卒業生なのだろうかと思いはなく、「横浜商科大学に行きたかったんですよ！」とのこと。残念ながら願かなわず、その方は他の大学に通ったそうです。今でも横浜商科大学は憧れの大学だそうです。セールストークだったかもしませんが、帰り際に「本当に横浜商科大学に行きたかったですよ！」と繰り返し

たその目は、彼の言葉を信用させるのに十分な説得力を持っていました。

その方が受験したのは恐らく20年近く前のことでしょう。その当時は第2次ベビーブームの世代が18歳を迎え、大学志望者数は今よりずっと多く、本学も入試会場をよそで探さなければならぬ程の人気だったようです。すでにバブルは崩壊して厳しい時代に突入していたとはいえ、日本中の大学は受験生バブルで夢心地だったはず。本学の学生も教職員もアットホームな学風の中で、ある意味で社会から超然としていられた時代だったのではないのでしょうか。

しかし、昨今の少子化により日本全体の大学定員総数が志願者総数を上回る事態となり、各大学ともこれまでのように社会の動きから超然としていた訳にはいかなくなりしました。これまでのように心優

しくも逞しい学生諸君を変わらず育てていくためには、大学自身も変化しなければなりません。激変する社会の中で活躍出来る、安んじて事を託せる学生を育てていくには、大学も時代の要請に敏感になる必要があります。

昨年、本学は短大開設から数えて45年周年を迎えました。更に前身の横浜第一商業時代から数えると70年を超える歴史と伝統がある大学です。この伝統の上に新しい風を入れ、教育内容を見直し、本学で学ぶ者達が社会に必要なとされ、活躍出来るように本学自身が進化していくことが必要です。10年後、あるいは20年後に横浜商科大学の名前を耳にしたときに、更に多くの人が羨望の眼差しを向けてくれる大学にしていきたいと考えております。改革の直接の担い手は教職員ではありませんが、卒業生の皆様におかれまして、本学が行う諸改革にご理解をいただき、サポートしていただけますようお願い申し上げます。

平成24年度（2012）学年暦

学 年 行 事	
前	4月1日 入学式
	4月2日～7日 新年度オリエンテーション
	4月9日 前期講義開始
	4月18日 祝日講義日（開学記念日）
	4月30日～5月5日 研修週間（休講期間）
	7月16日 祝日講義日（海の日）
	7月28日 講義終了
期	7月30日～8月4日 前期定期試験期間
	8月5日～9月21日 夏期休暇
	9月18日 後期オリエンテーション
後	9月22日 後期講義開始
	10月8日 祝日講義日（体育の日）
	10月24日～30日 大学祭休講期間
	10月27日・28日 飯山祭
	11月3日 祝日講義日（文化の日）
	11月23日 祝日講義日（勤労感謝の日）
	12月25日～1月5日 年末年始休暇
	1月19日～20日 大学入試センター試験（休講）
	1月28日 講義日（講義終了）
	1月29日～2月4日 後期定期試験期間
期	3月23日 卒業式・学位記授与式
	3月27日 オリエンテーション

人 事 異 動

【新 任】

《教育職員（契約任期） 平成24年4月1日付》
講 師 佐藤 浩之
(マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ
経済政策Ⅰ・Ⅱ 外国語講義Ⅰ・Ⅱ 現代
社会とビジネス)
《事務職員 平成24年5月1日付》
専任事務職員 重政貴博 学務部

【昇 任】

《教育職員 平成24年4月1日付》
教 授 総田 はるみ
《事務職員 平成24年4月1日付》
次 長 田中昌司 (総務部 情報室)
主 任 高崎洋一 (法人事務局)

【昇任・異動】

《事務職員 平成24年4月1日付》
主 任 篠原健司 (学務部 就職指導室)

【異 動】

《事務職員 平成24年4月1日付》
局長補佐 藤巻健一 (学生生活担当)
部長補佐 福田秀雄 (総務部 広報・入試)
部長補佐 井樋秀則 (学務部 就職指導室)
次 長 生田博子 (学務部 学生生活担当)
次 長 村澤裕一 (総務部 広報・入試)
主 任 関口英弥 (総務部)
笠原木美子 (総務部 広報・入試)

【定年退職】

《教育職員 平成24年3月31日付》
教 授 酒井明子
教 授 柴田悟一
教 授 立川丈夫
《事務職員 平成24年3月31日付》
部長待遇 重政克己 (学務部 みどりキャンパス)

【任期満了による退職】

《契約任期事務職員 平成24年3月31日付》
鈴木昌三 (みどりキャンパス)

平成24年度入学式



平成24年度入学式が、本年4月1日、横浜商科大学体育館で、清々しく挙行されました。

「横浜商科大学へ入学おめでとう。これからは、自由な意思決定者として、4年後の自分の姿をイメージして目標を持って下さい。その目標達成する為の過程を全教職員が全力でフォローします。」(柴田悟一 学長)

「本学での4年間で最善を尽くす事がやるべき事。無限の可能性を自ら求め自ら学ぶ事」

(松本英二 理事長)

それぞれ、激励のご挨拶がありました。



入学式後の特待生・同窓会奨学生との懇談会
H24.4.1

支部会だより

マーケティング研究会支部総会
平成23年10月15日 14時
鶴見キャンパス224教室 22名

福島支部総会
平成23年10月15日 17時30分
しま田 9名

観光産業支部総会
平成23年10月15日 13時30分
ホテル・ラポール 千寿閣 8名

関西支部総会
平成23年12月3日 18時
鳥よし 7名



横浜商科大学関西支部 平成23年12月3日

韓国支部総会
平成23年12月22日 19時
同門会事務所 6名

剣道部支部総会
平成24年2月11日 15時30分
みどりキャンパス206教室 19名

飯山会支部総会
平成24年5月12日 13時
横浜東口クルーズクルーズ 18名



教員支部総会
平成24年5月15日 16時
横浜ベイシエラトンホテル 14名

※今後の支部総会予定
静岡支部
平成24年6月10日

ハンドボール部支部
平成24年6月23日

同窓会事務局便り

昨年の東日本大震災、その直後の原発事故により被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

同窓会・大学・育友会と三者共同で義援金を募りました。『今回被災された同窓生・在学生に対してお見舞いを』との企画に多数の方々にご賛同いただきました事に感謝申し上げます。

卒業生については、同窓会名簿に基づき、福島県152名、宮城県46名、岩手県41名に対して調査を行ない、在学生については、大学事務局からの

東日本大震災お見舞金送付報告

寄 付 総 額		2,654,809円
内 訳	全 壊	8件
	大規模半壊	4件
	半 壊	21件
	一 部 損 壊	17件
	そ の 他	15件
合 計		65件

作成日：2012年1月24日

情報提供により、合わせて65名にお見舞金として昨年12月にお贈り致しました。その後、お見舞金を受け取られた皆様から、本会宛に丁寧なお礼状をいただきましたので、ご報告申し上げますとともに、一部掲載させていただきます。

また、ご協力いただきました同窓生・大学教職員・育友会の皆様には、この紙面をお借りして厚く厚く御礼申し上げます。

東日本大震災に際しお見舞金を頂戴いたしました此処に御礼申し上げます。

宮城支部

先日は震災の義援金をいただきました。大変ありがとうございました。貴重なお金を私の知人であります陸前高田ドライビングスクール社長の田村満氏が発起人を務める事業に協賛金として使わせていただきましたことを報告いたします。

岩手県盛岡市
昭和49年卒業

この度、私こと宮城の一同窓生に對しまして、大学はじめ各教職員様、関係各位様、各同窓生の皆様より厚きお見舞いを頂戴させて頂きました。誠にありがとうございます。昨日書留にてお見舞い金として受け取らせて頂きました。ありがとうございます。

振り返りますと、震災当日より早9ヶ月が過ぎ、無我夢中の中あつという間に年末を迎える気が致します。昨日より自治体の支援による応急修理工事が拙宅にも入り、来週半ばにはようやく一安心かと思っております。誠に温かい思いを頂戴致しました。感謝に堪えません。

卸・小売りの商いに携わっており、特に年度末から年度初めの最需期に受けました影響は大きく、業績も大幅にダウンした中、受けましたダメージを何とか取り返すべく、努力して参りました。業界取引様等の支援も頂きながら無事、事業継続しております。

母校からの温かい思いに、あらためまして「絆」という言葉を認識致しました。ありがとうございます。家族とも相談した上、使途を決めたく存じます。

最後になりましたが、横浜商科大学関係各位様及び貴会様方の、今後ますますのご隆盛を祈願致しまして御礼申し上げます。ありがとうございます。

仙台市太白区

義援金ありがとうございます。昨日届きました。大金で申し訳なく使わせていただきます。ありがとうございます。

福島県福島市

〈第37回 総会のお知らせ〉

平成24年11月17日(土)

新横浜国際ホテル

18:00 総 会

19:00 懇親会

会費8,000円

～たまには学生気分で夜を楽しもう～
※第7回支部長会議も予定しています。

師走の候、ご清栄のこととお慶び申し上げます。
この度の震災のお見舞いとして多大なるお見舞い金をいただきました。誠にありがとうございます。
大学教職員の方々、育友会、同窓会の皆様様に心より御礼申し上げます。
人の心の暖かさとしていただきましたことを忘れずに大切にに使わせていただきます。

感謝
福島県石川郡

〈編集後記〉

会報40号の発行にあたり、皆々さまの、ご協力ありがとうございました。

東日本大震災後、義援金募金活動がされています。

私達一人一人は微力ですが、多くの同窓生が結集すると、素晴らしい力になることが証明されました。

これほどの絆はないでしょう。日本は一日も早い復興に向けて邁進し、商大同窓生は母校50周年に向けて、さらなる発展とともに、ゆるぎない絆となりますように。

— 紀 —

同窓会事務局パート募集!!

詳細は下記へお問い合わせ下さい。

TEL・FAX 045-583-9031 直通(月・火・木・金)

〒230-8577 横浜市鶴見区東寺尾4-11-1

E-Mail: dousou@shodai.ac.jp

同窓会HPアドレス <http://www.shodai-ob.com/>携帯サイト <http://hp.did.ne.jp/shodai-dousou/>